

「鈴木みきお」は  
夢に向かい  
挑戦します

# 未来の扉を開く！ いきいき山梨 プロジェクト



全国で地方の元気が失われつつあります。私は、地方に活力がなくなると、そこに住む人々の気持ちまで暗くなってしまいうように、これからのふるさとが心配でなりません。地方が衰退へと向かいつつある今、私は、いきいきとした山梨をつくり、笑顔あふれる地域にしていくことが県議会議員の使命であると考えます。私には、県議会議員を志した頃から、貴重な地域資源である果樹などを生かし、集客できる場所をつくりたいという夢があります。たくさんの人たちが、食べて、体験して、参加して、感動して、喜んで、思い出をつくれる施設があれば、どんなに素晴らしいことかと思いついていました。少子高齢化や人口減少が進み、我が国が復

興にむけて正念場を迎えた今こそ、私は、皆さんとともに地方創生を進めるために、私の夢である「いきいき山梨プロジェクト」に挑戦しています。このプロジェクトは、実現までだけでなく、完成してからも多くの人の「楽しみ」となり、そして、美味しく、楽しく、のんびり、新鮮、魅力的なものとなるよう願いを込め、「お・た・の・し・み・構想」と名付けました。まだ構想であり、夢の実現は遠い道のりです。しかし、未来の扉を開くために、どうか私と一緒に挑戦してください。鈴木みきおは、皆さんからいただいた英知と力を糧として、いつまでも輝く地域とするため全身全霊で取り組んでまいります。



特集 いきいき山梨  
プロジェクト

# 「鈴木みきお」 県政報告



## 政策 提言

### 進む少子高齢化、人口減少 地方創生の正念場を迎え 地域資源の果樹などを生かした いきいき山梨に挑戦

昨年、民間機関の日本創成会議が、このまま少子化による人口減少が進むと、2040年(平成52年)には、山梨県の人口は63万9千人となり、甲州市は2万2千人まで減少し、消滅の可能性があるとのショッキングな試算を発表しました。しかし、これは何もしない場合であり、早期に対策を取れば、その事態は避けられると警告しています。このため、国は、平成27年度の予算の目玉を「地方創生」として、国を挙げて地域の活性化に下取り組みもうとしています。

少子高齢化や人口減少の進展は、県民に漠然とした不安をもたらし、私も地域の未来に大きな危機感を抱いています。全国各地では新たな取り組みが始まりつつあり、我がふるさと峡東地域も、活性化に向けて、すぐにも行動を起こしていくことが必要です。私は、地域を代表する県議会議員として、皆さんと力を合わせて、未来の扉を開けるために挑戦いたします。